事務事業評価シート(概要説明書)

	第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO		施策の展開方向
		健全な行財政と都市経営 に基づ〈市民サービス	市民サービス		市民サ	ービスの向上
Ī	± W 4		± 111/	40.	L/+m/=	C

事業名 市民課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

昭和26年に新生活運動の一環として低廉で荘厳な葬儀の執行を目的として発足。

当初は直営にて葬儀を執り行ってきたが、時代の流れにより、平成14年度から民間事業者に市営葬儀業務 を委託している。

(事業概要等)

納棺、祭壇の飾り付け、告別式の司会進行から火葬までの葬儀全般の執行を行っている。

【事業費】

項目 / 年度		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
	事業費総額(千円)	2,909	3,200	3,022	4,116	
	うち市負担分(千円)	2,549	2,980	2,852	3,956	

【事業実績·成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
市営葬儀件数	件	11	16	8	20
葬儀件数	件	639	665	740	600
市営葬儀利用率	%	1.7	2.4	1.1	3.3

(指標を設定できない理由)

年間の葬儀件数及び市営葬儀件数が特定できないため、成果指標の実績値・目標値の正確な設定が困 難.

(成果の概要)

- 民間葬儀事業者の開業に伴い、市営葬儀の執行件数は減少傾向であるが、近年「家族葬」の需要が増加し ていることもあり、市営葬儀の利用率については横ばい状態と考える。

(これまで実施した事務の見直し点)

	・ 平成14年4月1日以降の告別式執行分から市営葬儀業務を直営から民間事業者へ委託し
直近の改善点	た。 ・ 委託事業者と連携を行い、市民要望の改善に努めている。

【課題(問題点)】

- min () - min (
	令和2年6月から3年間の随意契約により市営葬儀1件の委託料金87,450円にて業務を
課題(問題点)	行っている。
	┃ また、葬儀を行わず火葬のみを希望する案件が増加していることから、市民ニーズに応えら┃
	れるような仕様書等の見直しも必要と考える。

【今後の方向性】

担	当課の評価	(左記評価の理由) 葬儀の諸手続きについて全て行ってもらえる業者葬は、親族に人的負担の軽減を行っているが、金額的 な負担が大きい。諸事情により民間葬儀を行うことができない場合に、低廉で荘厳な市営葬儀を要望する声は根強くあり、今後はコスト面やサービスのあり方等を検討しながら継続していく。
	改革・改善 策等の具体 的内容	委託事業者が3年ごとに変更となるが、より充実したサービス提供のため日々検討に努めている。今後は、契約更新時には事業者の意見などを聞き、仕様等の見直しを検討していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
の位置づけ	健全な行財政と都市経営 に基づ〈市民サービス	市民サービス		市民サービスの向上

事業名	火葬場維持管理事業	担当課名	市民課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

背景:公益性の高い、市民生活の基盤となる事業であるため、市が実施する必要性があること。

目的:適正かつ円滑な火葬執行により、公衆衛生その他公共の福祉を図ること。

(事業概要等)

火葬の執行

施設運営及び維持管理

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	36,478	37,509	39,743	62,800	
うち市負担分(千円)	18,309	18,951	18,994	19,270	

【事業実績·成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
火葬場稼働日数	Ш	363	363	364	363
火葬取扱件数(死体·死胎·一部火葬)	件	630	675	752	750

(指標を設定できない理由)

事業成果が目標(成果指標)による管理と親和性がないため。

(成果の概要)

現時点において、適正かつ円滑な火葬の執行が行われている。 丁寧な清掃等により場内の環境美化は保たれている。

【これまで実施した事務の見直し点】

平成23年6月より、動物の単体火葬を実施しており、平成25年度からは、泉大津市営火葬場「ゆうしお」にて直接搬入してもらっている。 直近の改善点 で成29年度には、「案内表示システム」を変更し、案内表示が明確となった。 令和元年度、火葬炉へ燃料を送るポンプ損傷に係る修繕を行った。

【課題(問題点)】

急を要する修繕等の発生に対応するため、今後も修繕料の予算要望が必要と考える。 大規模改修工事に関しても、長期を見通した改修計画を策定し、事業者との協議も必要と考える。

【今後の方向性】

1 /		1		
担	当課の評価	Α	現行どおり	(左記評価の理由) 【事業実績·成果】(具体的な事業成果)に同じ。
	改革・改善 策等の具体 的内容			

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
の位置づけ	健全な行財政と都市経営 に基づ〈市民サービス	市民サービス		市民サービスの向上

事業名 公園墓地維持管理事業 担当課名 市民課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

背景:継続性及び公営性が要求される事業であるため、市が実施する必要が高いこと。 目的:適正な墓地区画の供給及び維持管理により、市民の墓地需要に対応すること。

(事業概要等)

墓地区画の供給(通年募集、一月ごとに抽選し、使用許可を実施)

墓地使用に関する届出・記帳による管理

墓地使用者の管理料の徴収

施設内の一般管理

【事業費】

項目 / 年度		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
	事業費総額(千円)	11,317	16,225	14,616	18,909	
	うち市負担分(千円)	5,057	1,816	4,888	7,599	

【事業実績·成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
墓地区画供給数		10	7	8	10

(指標を設定できない理由)

通年募集により年間の募集件数を特定できないため、活動指標の実績値及び目標値の正確な設定が困難。

(成果の概要)

返還墓地について、使用者募集を通年行った結果、墓地を有しない市民の需要に対して十分な供給を行う ことができている。

敷地内施設及び駐車場については、丁寧な清掃をすることにより景観美化が保たれている。

【これまで実施した事務の見直し点】

永代使用料は購入時に一括納付であるが、管理料については5年ごとの前納のため、連絡 「直近の改善点」 「直近の改善点」 「大選継や住所変更の案内も同封することにより、管理業務の改善を図っている。

【課題(問題点)】

近年墓離れが進み、需要数が減少傾向であり、墓地返還が増加傾向となっている。 墓地供給から30年が経過していることから、管理事務所や共有部分の老朽化も見受けられる ため、順次予算要望を行い改修をおこなっていく。

【今後の方向性】

	担当	á課の評価	A 現行どおり	(生記評価の理由) (事業の目的・趣旨)に同じ。			
改革・改善 策等の具体 的内容		策等の具体	【課題(問題点)】に関して 長期的な墓地需要及び近年の墓地区画の返還数の増加を考慮し、募集条件の緩和なども視 野に入れて検討する。				